

5年ぶりに

「ザ・シンポジウムみなとin石狩湾新港」が開催

石狩湾新港管理組合
石狩湾新港外貨物利用促進協議会
北海道石狩市新港南2丁目725-1
Tel 0133-64-6661 Fax 0133-64-6666
<http://www.ishikari-bay-newport.jp>

今回で31回目となる ザ・シンポジウムみなとが開催されました

本年10月5日、国土交通省北海道開発局などが主催の「ザ・シンポジウムみなとin石狩湾新港」が、本港から車で約10分の距離にあるシャトルレーザガトーキングダムサッポロで開催されました。このシンポジウムは、長年にわたり北海道各地で開催され、今回で31回目を迎えました。

石狩湾新港をテーマとした開催は5年ぶりであり、開催当日は、事前に申し込んだ約500名が参加しました。オンラインでの視聴も可能でしたが、来場者も多く、開会時には空席を探すことが難しい程の盛況ぶりでした。

開会後、プログラムに沿って、本港の可能性と未来に焦点を絞った物流や再生可能エネルギーについて、専門家の方々が基調講演やパネルディスカッションで、その真剣な想いを参加者に伝えました。

将来に向けて

第1部では、一般社団法人寒地港湾空港技術研究センターの眞田理事長が、本港の整備効果や振興ビジョンについて説明しました。

本港の港湾開発までの歴史や背景、供用開始から取扱貨物量が増加してきたことや、北海道経済への影響の分析結果の



▲(一社)寒地港湾空港技術研究センター理事長 眞田 仁氏



本シンポジウムは動画配信されています。是非ご覧ください

第2部では、基調講演として物流の専門家である東京女子大学の二村教授と洋上風力発電施設の調査を経験した専門家である一般社団法人海洋エネルギー・漁業共生センターの渋谷理事から講演がありました。

北海道の物流を守るために

二村教授からは、物流2024年問題に代表するトラックドライバー不足に対し、海上輸送が重要であるため、本港の内貨物への対応が急務であるとの意見が述べられました。



▲東京女子大学現代教養学部教授 二村 真理子氏

渋谷理事からは、これまでの洋上風力発電施設実証実験から漁業者と共生した経験を活かし、港湾施設と海、漁業がつながっているため、港湾整備と一緒に海を豊かにする取り組みが重要であると述べました。



▲(一社)海洋エネルギー・漁業共生センター理事 渋谷 正信氏

豊富な可能性

第3部のパネルディスカッションでは、講演の2名に加え、札幌商工会議所、大和リース株式会社、石狩湾新港管理組合もパネリストとして参加

横浜冷凍(株)

創立75周年

石狩湾新港地域内に、総収容能力58,600トンの冷凍冷蔵倉庫を保有する横浜冷凍株式会社は、昭和23年に横浜で設立されてから、今年で75周年を迎えました。

当地域には平成6年に当時、北海道内初の営業用冷凍冷蔵倉庫として立地し、本港で輸入した畜産品や輸出水産物を保管するなど、港湾型物流センターとして本港の発展にも大きく貢献していただ

いています。

し、本港のポテンシャルや課題等について議論しました。



▲札幌商工会議所副会頭 紫藤 正行氏



▲大和リース(株)北海道支店支店長 稲垣 仁志氏

日本海側港湾との連携が必要であるとの意見がありました。本シンポジウムを通じて、それぞれの立場からの意見を今後の港湾づくりに活かし、更なる利便性向上に向けて取り組みます。



▲コーディネーターフリーアナウンサー 渡辺 陽子氏



▲石狩湾新港管理組合専任副管理者 折谷 徳弘



平成26年4月に増設された石狩第二物流センター※横浜冷凍(株)より提供

コンテナ貨物概況

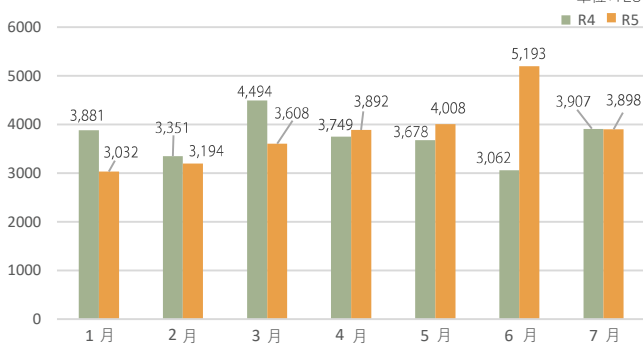
東南アジアとの輸出入
前年比-48%

令和5年1月から7月までの外貿コンテナ取扱個数(速報値)は、輸出入合計で2万6,825TEUとなり、前年同期比では、103%となりました。

輸出は同99%の1万2,868TEUとなり、輸入は同106%の1万3,957TEUとなりました。

月ごとの比較【図1】では、4月以降、前年を上回る月が増えました。特に輸入における木製品やその他畜産品日用品等の貨物の増加が目立っています。

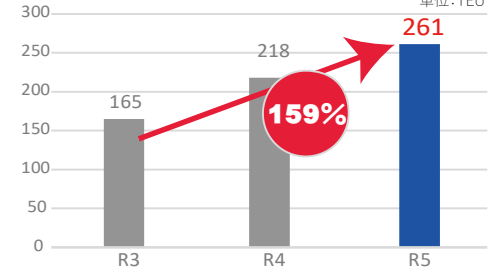
【図1】 1月から7月までの外貿コンテナ輸出入個数



輸出では、東南アジア向けの実入りコンテナ個数が、同121%の2,282TEUとなり、特に水産品は増加が目立ち、令和3年から比較すると159%となりました。この輸出した水産品【図2】は、切り身やフレーク等には加工されたものをはじめ、

※1 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

【図2】 1月から7月までの東南アジア向け水産品輸出個数



ベトナムやタイで出店が続く日本食レストランで使用するサーモン等であると考えられます。

これまで中国に向けてホタテを中心に水産品を輸出してきましたが、中国では、ALPS処理水放出を警戒した日本産水産品の検査・検疫を強化し、さらに、8月からは日本産水産品の輸入禁止としており、現在でも日本から輸出ができない状況です。一部報道によると、中国の水産加工業者は、今後拠点をタイやベトナムに移す計画があるとしており、新たな取り組みを進める動きもあります。今後、北海道産ホタテが世界中で食される日が来ることを期待しています。

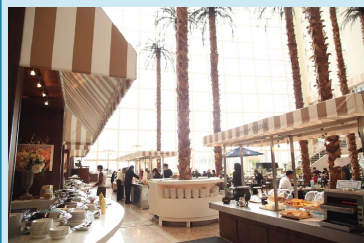
みなとの近くで

リゾート体験

こちらのホテルは、宿泊だけではなく、日帰り入浴ができる温泉や大迫力のウォータースライダーをはじめ、幼児が安心して遊ぶことのできる浅いプールまで、世代を問わず楽しめます。夏季には、日帰りと宿泊を含め、1日に5千人が訪れる非常に人気のリゾートスパ。ホテルこだわりのサウナは、プールサイドにもあるため水着で楽しむことができます。さらに、ホテル専属の凄腕スタッフから熱波を送るドイツ式パフォーマンスも月・木・土に実施。疲れた体を整え、癒やしを与えてくれます。



▲リゾート感あふれる外観(屋外プールは夏季のみ)



▲吹き抜けの解放感あるビュッフェ会場

ザ・シンポジウムみなとin石狩湾新港の会場となったシャトレ・ゼガトールキングダムサッポロは、お菓子やアイスなどが大人気となっているシャトレ・ゼグループのホテルです。石狩湾新港から、車で10分の距離にある、このホテルでは、大きな温泉に加え、リゾート感のあるプール、こだわりスイーツも堪能できる空間となっており、幅広い世代の方が時間を忘れて満喫できます。魅力にあふれたこちらのホテルをご紹介します。



▲サウナはパフォーマンスもあり、全身で楽しめる

知る人ぞ知る

「チードラ」

ホテルおすすめ限定スイーツ「チードラ」(写真1)。チーズスフレ生地にチーズクリームやフルーツを挟んだ見た目もふわふわのスイーツであつという間に売り切れる超人気商品。一口食べると、スフレ生地がじゅわっと口の中で軽やかに溶け、チーズクリームの甘みやフレッシュなフルーツの酸味が口の中いっぱいに広がります。

その他、北海道産の発酵バターや小麦をふんだんに使用したバターバウムも絶品。

どちらもシャトレ・ゼの店舗では売っていないホテル限定スイーツ。出張でのお土産におすすめです。

本港や背後地域の視察と一緒に、出張の疲れのリフレッシュに訪れてはいかがでしょうか？



▲(写真1) 大人気商品「チードラ」シャトレ・ゼガトールキングダムサッポロでのみ販売。